東豊

令和７年４月１５日
第　５１２　号
新発田市立東豊小学校
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://toho.shibata.ed.jp

春～居場所づくり～

校長　飯塚　進

先日、当校職員がスーパーで買い物をしていたところ、３月末で転出した職員が走って近づいてきたそうです。想像するに、新しい職場では緊張感でいっぱいであり、そう簡単に慣れることもできずにいたのかもしれません。そんな中、慣れ親しんだ人の顔を見て、走って近づいてきたというところではないでしょうか。私も異動の度に感じていたことなので、痛いほど分かります。

大人でさえ、そうなのですから、子どもたちにとって「春」は希望の春でもあり、不安や緊張の春でもあることと思います。学年が上がり、クラス替えがあったり、担任がかわったりしたら、なおさらです。お子さんはいかがでしょうか。

「居場所」って大事だと思います。ここにいると安心できる。そんな場所があると子どもたちは強くなれるようです。一番の場所は家庭だと思います。温かな家族に見守られ、少しぐらいのわがままも言える、そんな家庭で子どもたちはエネルギーを蓄えるのだと思います。

学校はどうでしょうか。我々は、学校も子どもたちにとっての心地よい居場所であってほしいと願います。できるだけ子どもたちを受容し、声なき声にも耳を傾けながら、子どもの気持ちに寄り添いたいと努力しています。しかし、集団行動が必要な、小さな社会と言ってもいいのが学校です。どうしても、規律が必要となり、我慢を強いる場面も出てきます。また、学校を大きな存在に感じてしまい、萎縮してしまう感情も生まれることがあるようです。

学校の教育活動への参加の態様は、柔軟であるべきです。学校は、その子に合わせた参加態様を模索する必要があります。一方で、その子自身が「居場所づくり」への努力をすることも必要だと考えています。例えば「隣の子に声をかけてみる」というその勇気が、その子をかえることがあります。新しい友達ができた時の高揚感は、「生きる力」を育むのではないかと思うのです。

令和７年度の東豊小学校は、新１年生９７名を迎え、全校児童数５６７名、教職員数４６名、合計６１３名でのスタートとなりました。保護者、地域の皆様のお力添えをいただきながら、よりよい教育活動を推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。